

ステアリング学習リモコン赤外線タイプ

スバル車用取り付け解説書

Gal!eyra

安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

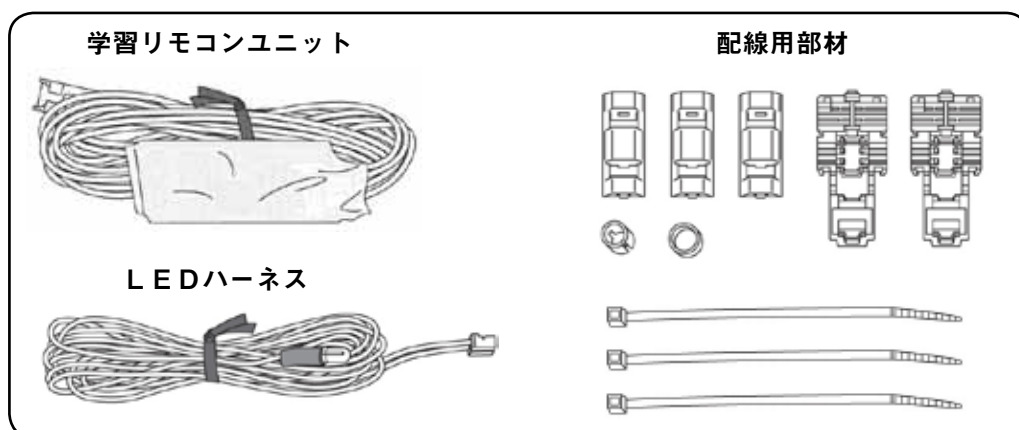
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両	5
取り付けに関する注意事項	5
スバル車用の取り付け方法	6
8極と14極カプラを採用している車種への接続	8
14極カプラのみでLANユニットが介在しない車種への接続	9
14極カプラと24極カプラを採用している車種への接続	10
14極カプラのみでLANユニットが介在している車種への接続	11
20極カプラを採用している車種への接続	12
20極カプラと6曲カプラを採用している車種への接続	13
2010.7～のインプレッサについて（形式 GVB/GVF）	14
LEDの設置位置は十分ご検討ください	15
設置後の確認	17
カーナビ／カーオーディオのリモコンを使用した設定方法	18
プリセットデータを使用した場合の設定方法	20
本体内蔵のプリセットデータについて	22
本体内蔵のプリセットデータについて、と機能設定	24
プリセットデータで設定されるボタン内容一覧	25
トラブルシューティング	26

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 学習リモコンユニット | 1台 |
| 2. LEDハーネス | 1本 |
| 3. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 4. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 5. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは5本の配線と、1つの赤外線LEDハーネス接続用コネクタが出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）です。添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|---|--------------------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V ACC 電源 |
| 黄 | (+) ステアリングスイッチ入力1 |
| 桃 | (+) ステアリングスイッチ入力2（未使用の場合もあります） |
| 茶 | (-) スイッチ用GND出力 |

※ LEDハーネス接続用コネクタには付属のLEDハーネスを接続します。

動作について

◇ユニットの動作モードは大きく分けて下記の2つになります

- ・学習モード（プリセット設定モード）

ユニットは、カーナビ等の赤外線リモコンを解析・記憶します。

取り付け後、最初に学習作業又はプリセット設定を行う必要があります

MEMO

- ステアリングスイッチは各ボタンに独立したコードを記憶できます。
- 社外製カーナビをご使用の方は、カーナビ付属のリモコンを学習させ、ステアリングスイッチでカーナビを操作することができます。
- プリセットデータを内蔵していますので、リモコンの付属しないカーナビをお使いの方も設定してお使いいただけます。「プリセットデータを使用した設定方法」頁をご覧ください。※リモコン使用不可機種を除く

- ・通常使用モード

車両のステアリング部についているオーディオ操作スイッチを押すと、赤外線LED部から学習させたりリモコン信号を発光させます。これによりステアリングスイッチを押した時、カーナビの赤外線リモコンのボタンを押した場合と同じ動作をカーナビにさせることができます。

取り付けできる車両

社外品のカーオーディオ／カーナビを取り付けられており、ステアリングスイッチの配線になにも取り付けられていない車両に取り付けることができます。ステアリングスイッチの配線が未接続になっていない場合、学習リモコンを取り付けると機器及び学習リモコンユニットの誤作動・破損の原因になりますので絶対にお止めください。

取り付けに関する注意事項

ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当方は一切責任を負いません。

また、赤外線発光LED部はお子様手の届かない場所に取り付けてください。万が一お子様が口にくわえたりした場合、感電する危険があります。

本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

スバル車用の取り付け方法

ユニットの配線はオーディオカプラーの配線へ接続します。年式／車種によりコネクタの極数及び接続先のピン位置が異なります。良く確認の上、確実に接続を行ってください。

※ステアリングスイッチを後付した場合は配線がありませんので、対応不可となります（一部車種を除く）。

■ 8極と14極の2つのオーディオカプラを採用している車種の場合

8極と14極の2つのカプラがある場合は、配線接続はオーディオ裏のみで完了します。

8極と14極カプラを採用している車種

2006.5 ~ 2009.5	レガシィ、レガシィアウトバック ※除くマッキントッシュオーディオ仕様
2008.6 ~ 2010.8	エクシーガ ※一部グレード

■ 14極のオーディオカプラは存在するが、8極のカプラが無い場合

8極カプラが無い場合は、LANユニットというユニットがステアリングスイッチとオーディオカプラの間に介在している場合と、14極カプラに統合されている場合があります。

14極カプラのみで、LANユニットが介在している車種

2006.5 以前	レガシィ、レガシィアウトバック
-----------	-----------------

14極カプラのみで、LANユニットが介在していない車種

2006.5 ~ 2009.5	レガシィ、レガシィアウトバックのマッキントッシュオーディオ仕様
-----------------	---------------------------------

14極カプラと24極カプラが存在する車種（8極カプラは無し）

2006.5 ~ 2009.5	レガシィ、レガシィアウトバック、インプレッサの純正ナビ付き車の一部
-----------------	-----------------------------------

次ページに続く

スバル車用の取り付け方法（続き）

※ステアリングスイッチを後付した場合は配線がありませんので、対応不可となります（一部車種を除く）。

■20極のオーディオカプラを採用している車種

20極のオーディオカプラがある下記の車種は、オーディオ裏のみでの接続作業となります。

20極のカプラを採用している車種

2007. 6 ~ 2010.6	GH 型インプレッサ
2007.12 ~ 2010.10	SH 型フォレスター
2008. 6 ~ 2010.8	YA 型エクシーガ ※一部グレード
2009. 5 ~ 現行	BR 型レガシィ・レガシィアウトバック
2011.12 ~ 現行	GJ 型インプレッサ G4
2011.12 ~ 現行	GP 型インプレッサ SPORT

■20極カプラと6極カプラを採用している車種

20極のオーディオカプラがあり、新型のステアリングスイッチを採用している下記の車種はオーディオ裏のみでの接続作業となります。

※新型ステアリングスイッチにはミュートボタンがありません

20極のカプラと6極カプラを採用している車種

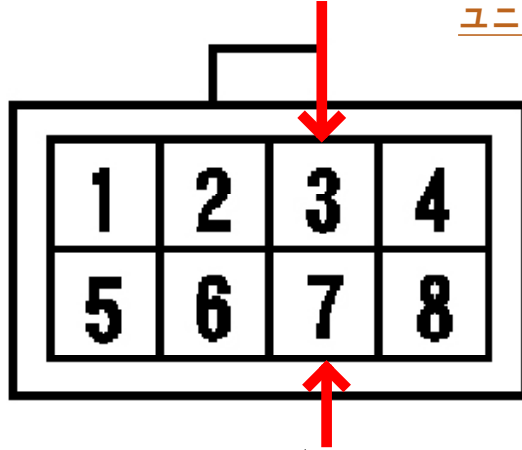
2010. 7 ~ 現行	GVB/GVF 型インプレッサ WRX STI
2010. 6 ~ 現行	GH 型インプレッサ
2010.10 ~ 現行	SH 型フォレスター
2010.8 ~ 現行	エクシーガ ※一部グレード

8極と14極カプラを採用している車種への接続

8極コネクタ

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶を接続

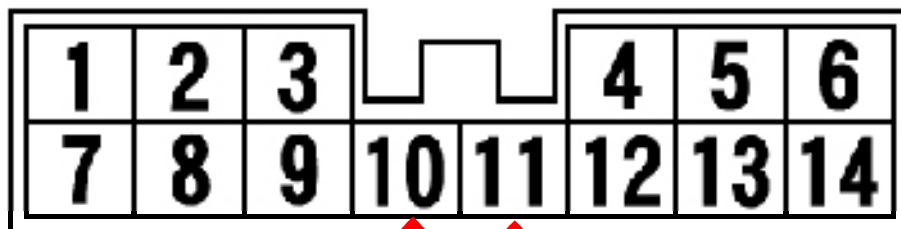


※ 8極コネクタは複数
ある場合があります
(小さいコネクタです)

ステアリングスイッチ SW1

ユニット黄を接続

14極コネクタ



車両アース ユニット黒を接続

+12V アクセサリー (ACC) 電源 ユニット赤を接続

※本ユニットの桃は未使用としてください

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
黄	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶	⇒	ステアリングスイッチ GND

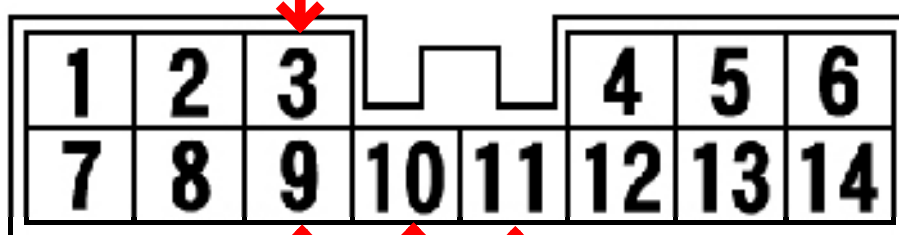
14極カプラのみでLANユニットが介在していない車種への接続

※マッキントッシュオーディオシステム搭載車で採用

14極コネクタ

ステアリングスイッチ GND

ユニット茶を接続



ステアリング
スイッチ SW1

ユニット黄を接続

車両アース

ユニット黒を接続

+12V アクセサリー (ACC) 電源

ユニット赤を接続

※本ユニットの桃は未使用としてください

※ ACC 電源ピンを基準にして接続先のピン位置を判断してください。

※ステアリングスイッチ (+) 及びステアリングスイッチ (-) が他の機器 (カーオーディオ / カーナビ等) に接続されている場合は本ユニットを接続しないでください。

MEMO

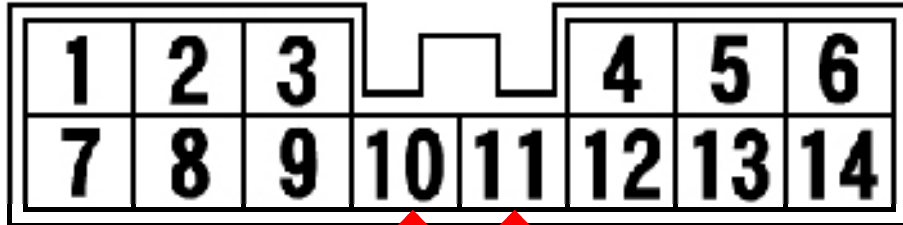
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
黄	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶	⇒	ステアリングスイッチ GND

1 4極カプラと2 4極カプラを採用している車種への接続

※純正ナビ付き車の一部で採用

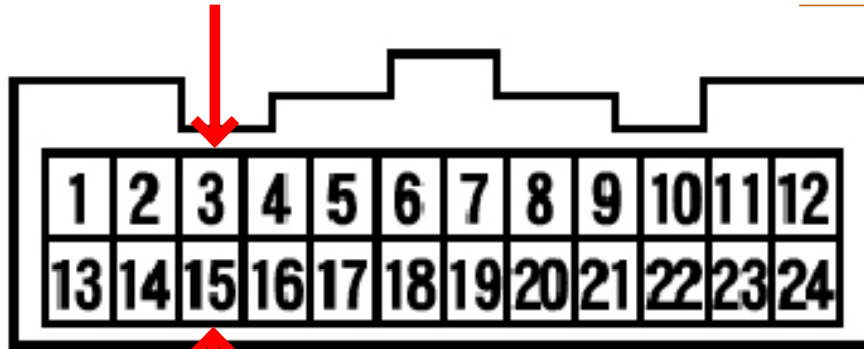
14 極コネクタ



+12V アクセサリー (ACC) 電源 ユニット赤を接続
車両アース ユニット黒を接続

24 極コネクタ

ステアリングスイッチ GND ユニット茶を接続



ステアリングスイッチ SW1 ユニット黄を接続

※本ユニットの桃は未使用としてください

MEMO

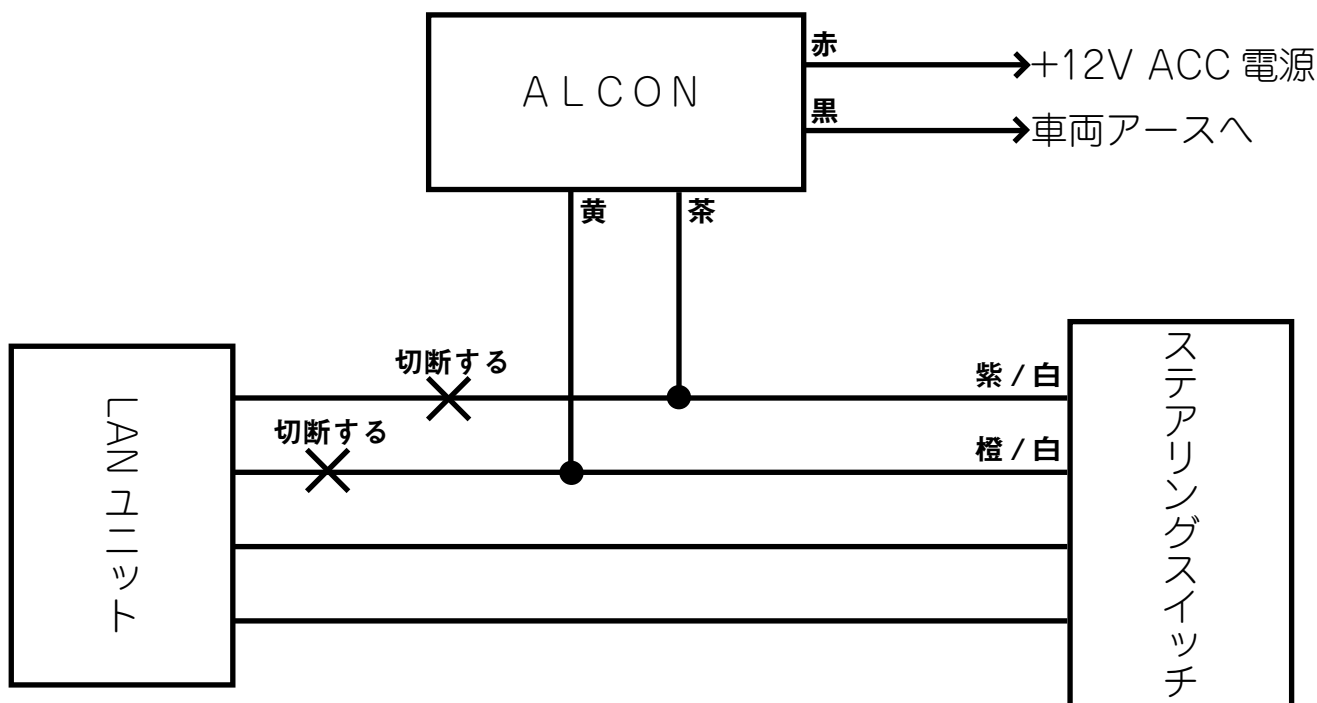
本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
黄	⇒	ステアリングスイッチ SW1
茶	⇒	ステアリングスイッチ GND

1 4極カプラのみでLANユニットが介在している車種への接続

※ 2006.5 以前の C 型レガシィ、レガシィアウトバックへの接続について

C 型レガシィ／レガシィアウトバックでは、本ユニットの配線を LAN ユニット部又は、ステアリングスイッチへ直接接続してください。



※本ユニットの桃は未使用としてください

※黄と茶はステアリングスイッチの配線上ならどこで接続してもかまいませんが、**ステアリングスイッチから LAN ユニットへの配線は切断**されるようにしてください。

※ LAN ユニットの位置は、車種やグレードにより異なります。
お手数ですがディーラー様にてお尋ねください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

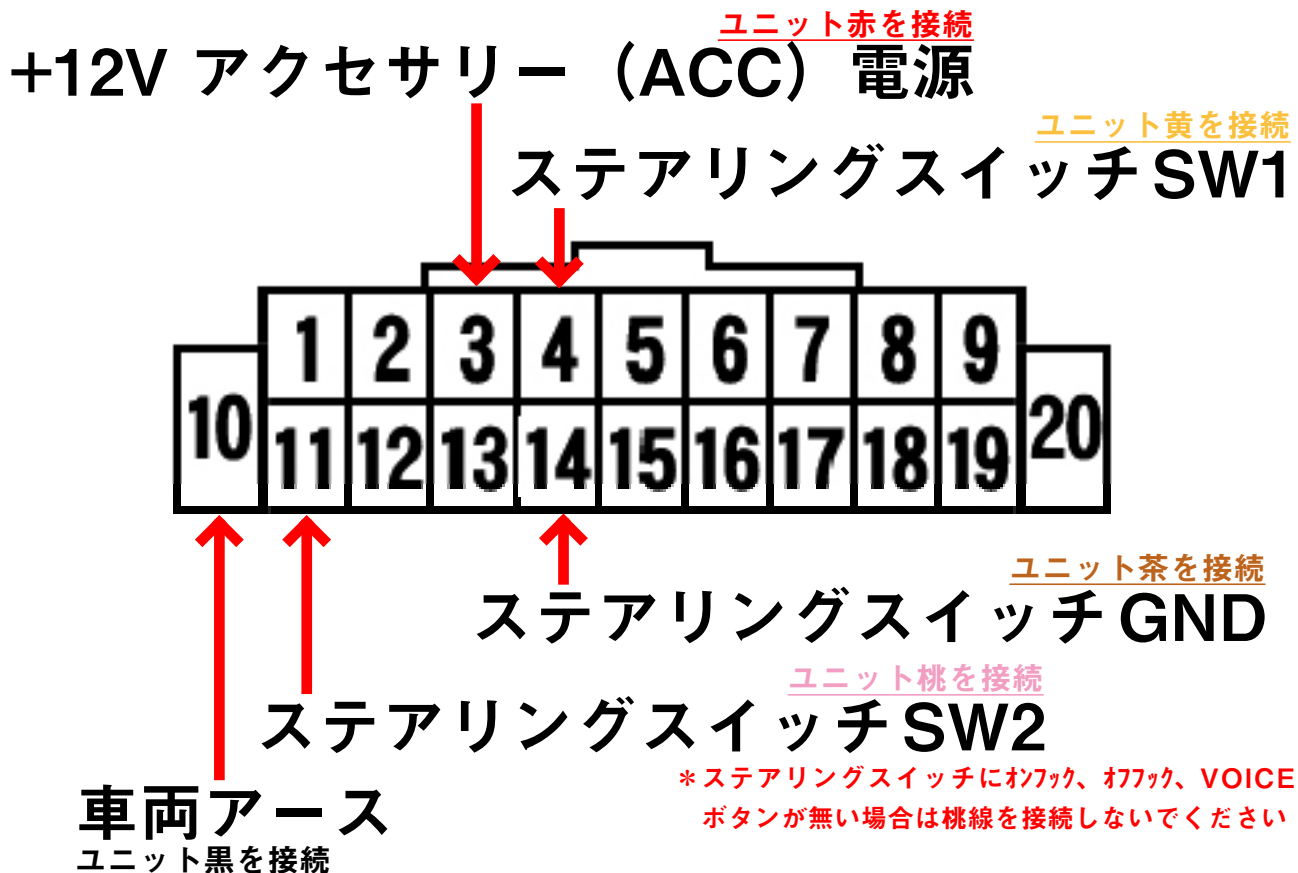
(C 型レガシィアウトバックの資料です)

- | | | |
|---|---|---|
| 黒 | ⇒ | 車両アース (オーディオ裏 1 4 極カプラ 1 1 番) |
| 赤 | ⇒ | ACC 電源 (オーディオ裏 1 4 極カプラ 1 0 番) |
| 黄 | ⇒ | LAN ユニットの 4 番 (橙 / 白) を切断してステアリングスイッチ側に接続する |
| 茶 | ⇒ | LAN ユニットの 7 番 (紫 / 白) を切断してステアリングスイッチ側に接続する |

20極カプラを採用している車種への接続

20 極コネクタ

※下図は純正コネクタをコンタクト面から見た図です



※ナビ系ボタンがある場合のみ 11 番を接続してください

11 番に ALCON の桃線を接続するとワック、ワック、VOICE の 3 ボタンが使用可能となります。

* 11 番に配線が無い場合は対応できません

※ 11 番ピンの「ステアリングスイッチ 2」はナビ系ボタン用です。ナビ系ボタン (ワック、ワック、VOICE) が車両に無い場合は必ず未接続としてください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

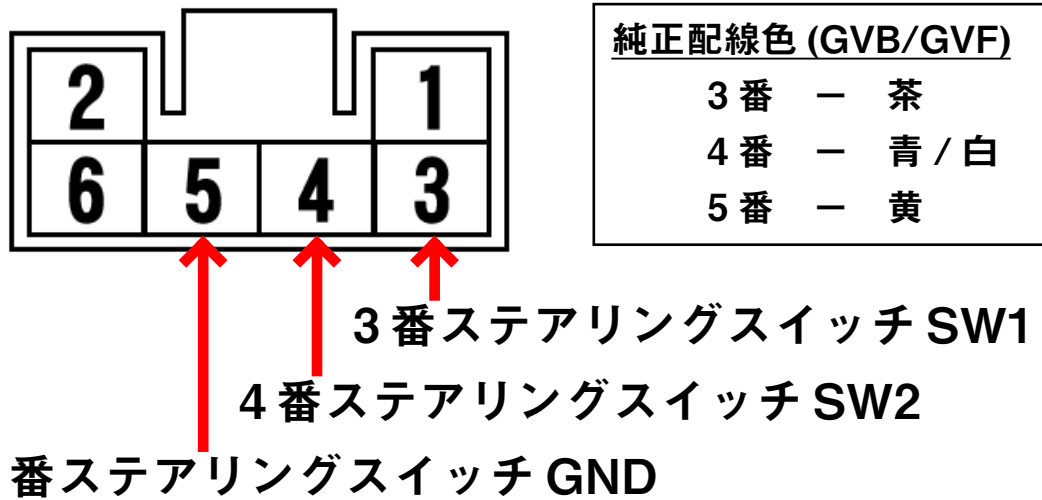
ユニット配線色	⇒	カプラ
赤	⇒	3 番 +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	10 番車両アース
黄	⇒	4 番 ステアリングスイッチ SW1
桃	⇒	11 番ステアリングスイッチ SW2
茶	⇒	14 番ステアリングスイッチ GND

20極カプラと6極カプラを採用している車種への接続

■ 2010.7～の GVB/GVF インプレッサ等、新型のステアリングスイッチを採用している車種は、カーナビ裏に6極コネクタがありますので、そのコネクタへ接続します。

※メーカーオプションナビ付き車のみ

カーナビ裏6極ステアリングスイッチコネクタ



※メーカーオプションナビ付き車のみ
6 極コネクタが存在します。

※ユニットの電源線（赤・黒）は、カーナビ・カーオーディオのハーネスから分岐接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色	カプラ
赤	⇒ +12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒ 車両アース
黄	⇒ 3 番ステアリングスイッチ SW1
桃	⇒ 4 番ステアリングスイッチ SW2
茶	⇒ 5 番ステアリングスイッチ GND

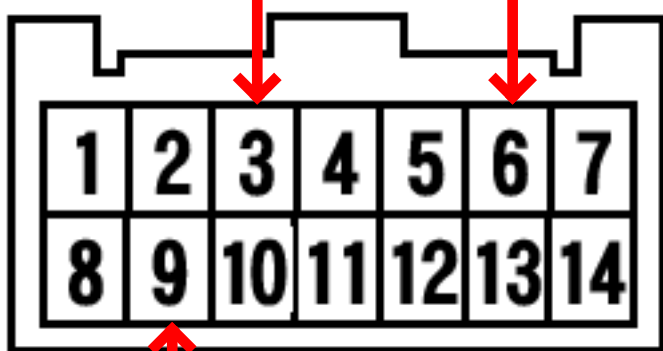
2010.7～のインプレッサについて（型式 GVB/GVF）

■オーディオレス等で、ステアリングスイッチを後付けした場合はコラムカバー内のロールコネクタ部で結線してください。

ロールコネクタ 14極コネクタ

3番ステアリングスイッチ SW1

6番ステアリングスイッチ SW2



9番ステアリングスイッチ GND

純正配線色 (GVB/GVF)

3番	—	赤
6番	—	緑
9番	—	水

※ロールコネクタはエアバッグ配線等
もありますので間違えない様に接続
してください

※ユニットの電源線（赤・黒）は、カーナビ・カーオーディオのハーネスから分岐接続してください。

MEMO

本ユニットとカプラは次の通りの接続としてください

ユニット配線色		カプラ
赤	⇒	+12V アクセサリー (ACC) 電源
黒	⇒	車両アース
黄	⇒	3番ステアリングスイッチ SW1
桃	⇒	6番ステアリングスイッチ SW2
茶	⇒	9番ステアリングスイッチ GND

LEDの設置位置は十分ご検討ください

本ユニットは黒 / 黒灰コード先にある「赤外線 LED」部から赤外線リモコンと同じ「光」信号を出力し、カーナビ / カーオーディオを操作しています。赤外線 LED は視野角が狭く、ご家庭でテレビのリモコンを操作するときの様に、操作の対象となる機器に向けないと動作しなかったり反応が鈍くなったりしますので、**設置位置 / 角度は十分検討してください。**

MEMO

※赤外線 LED が出力している光は目に見えません。カメラには映りますので、実際に視野角を目視で確認するには、デジカメか携帯電話のカメラの液晶ファインダーで確認してください。

※赤外線は反射する時に大きく減衰します。設置位置は次のポイントに注意してください。

1. 操作の対象となる機器の間に遮蔽物しゃへいが無いこと

2. なるべく直接光で操作できる設置を選択すること

■カーナビ横の隙間を埋めるパネル等、操作の対象となる機器が極近くにある場合は反射光や側光でも十分操作可能です。この場合は付属の LED 固定部品は使用しないでください。

3. 添付の LED 固定部品を使用すると、LED の頭の部分が固定部品に少し埋まるため指向特性が更になり狭くなりますので、ご注意ください

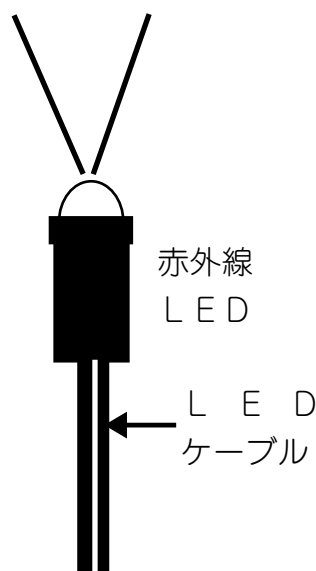
○取付け位置の例 1 : ナビの隙間を埋めるサイドパネル (トヨタ車)

○取付け位置の例 2 : 上部ルームランプ (マップランプ) に埋め込み

×インパネ部のスイッチブラंक ⇒ 場合により操作できない

×ハンドルコラムカバー部 ⇒ 腕により光信号が遮光される

指向特性は約 30 度です



MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

設置後の確認

- ◇ユニット本体の配線が終わったら、全ての配線が正しく接続されていることを確認してください。確認したらキーを差し込み、**ステアリングスイッチを押さずにACC電源をON**にします。このとき、本体基板上の赤色LEDが点滅⇒点灯することを確認してください。
- ※ステアリングスイッチをなにも押さずにACC電源をONにすると、接続されている車種を判定するユニットがあります。**設置後に最初にACCをONにする際は、ステアリングスイッチを押さないでください。**

- ◇次にステアリングスイッチを押します。押したときに本体から「ピッ」という短いブープ音が鳴ることを確認してください（同時に本体基板上の赤色LEDが高速点滅します）。

- ◇続いて初期設定を行います。ユニット本体は**初期設定が完了するまでは手元に引き出して**ください。
- ※本体内蔵のプリセットデータを使用して初期設定を行う場合は、ユニット本体を隠れた場所に設置しても構いません。
- ※設定内容をたびたび変更する可能性がある場合は、ユニット本体を「いつでも見える場所」や、「容易に引き出せる場所」に設置してください。

- ◇初期設定が終わったら、ユニット本体をカーナビ裏の配線の束等にビニールテープ等で固定してください。ビニールテープ等をあまり強く巻きついたり、カーナビ本体と干渉する位置取り付けたりしないでください。ユニット内部の部品が破損したり変形してショートする危険があります。

- ◇赤外線LED部はカーナビのリモコン受光部近くに受光部へ向けて設置します。赤外線LEDがカーナビの方向に向いていれば、2m程度離れていても操作可能です（カーナビの機種によっては受信感度が悪く、あまり距離をとれない場合もあります）。
- ※赤外線LEDは指向性が高い性質があります。真正面以外では信号が大きく減衰しますので、**なるべくカーナビへ向けた状態で設置してください。**

MEMO

※赤外線LED部の熱収縮チューブ部分は無理な力をかけたり、大きく曲げたりしないでください。赤外線LED内部が断線し、故障の原因となります。

カーナビ／カーオーディオのリモコンを使用した設定方法

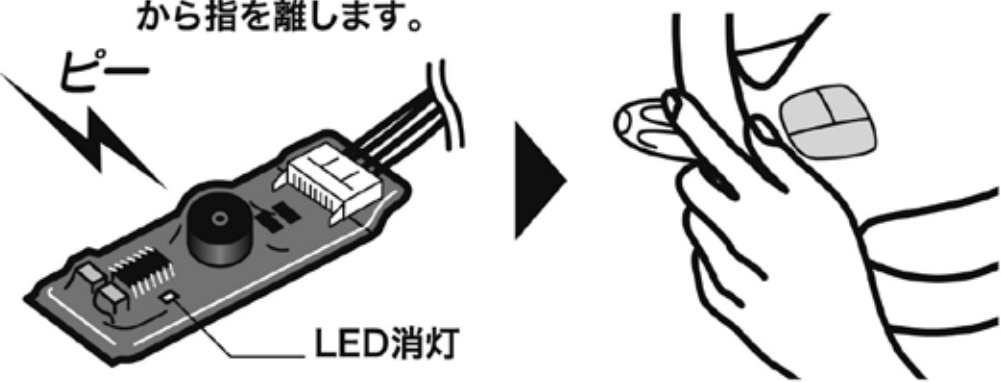
ステアリングスイッチ1ボタンずつ、全てのボタンに学習を行います。

1 ステアリングスイッチの「学習させたいボタン」を押しながらキーをACCへ廻します(プッシュ式の場合はブレーキを踏まずにボタンを押します)。




The diagram illustrates the first step of the learning process. On the left, a hand is shown holding a key and pressing a button on the steering wheel. An arrow points to the right, where the hand is shown turning the key to the 'ACC' position. A callout bubble labeled 'ACC' points to the key's position.

2 ステアリングスイッチをそのまま押したままにしていると、1秒経過後に長いビープ音が1回鳴ります(LEDは消灯します)。ビープ音が鳴れば、ステアリングスイッチのボタンから指を離します。



The diagram illustrates the second step. On the left, the steering wheel switch unit is shown with a long beep sound (represented by a lightning bolt and the word 'ピー') and the LED indicator is labeled 'LED消灯' (LED off). An arrow points to the right, where a hand is shown releasing the button on the steering wheel.

3 ビープ音が鳴ってから10秒以内にユニット本体の受光部(基板上的配線が出ている側とは反対側に搭載されています)へ学習させたいカーナビの赤外線リモコンを向けて、学習させたいボタンを押します。
※長いビープ音が2回鳴り終わるまで押し続けてください。
※LEDが同時に2回点滅します。



The diagram illustrates the third step. On the left, a hand is shown holding a remote control and pointing it towards the steering wheel switch unit. An arrow points to the right, where the steering wheel switch unit is shown with a long beep sound (represented by a lightning bolt and the word 'ピー') and the LED indicator is labeled 'LED2回点滅' (LED flashes 2 times).

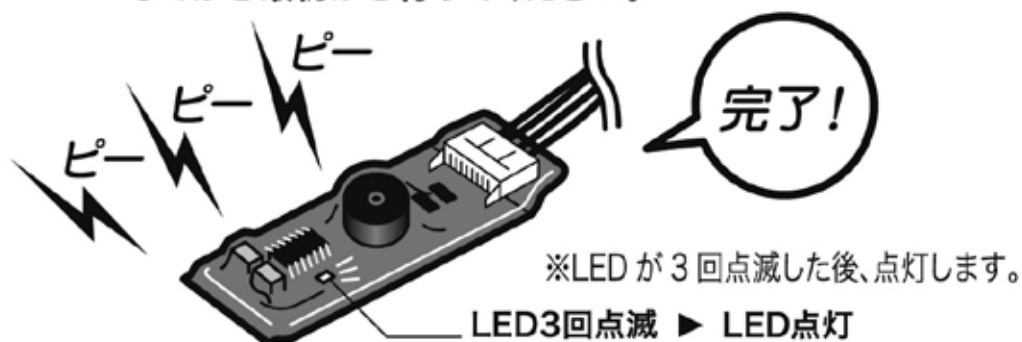
カーナビ／カーオーディオのリモコンを使用した設定方法（続き）

4 カーナビの赤外線リモコンのボタンから一旦指を離し、再度同じボタン（カーナビの赤外線リモコンのボタン）を押します。

※長いピーブ音が3回鳴りおわるまで押し続けてください。



5 以上で学習は完了です。学習はステアリングスイッチの全ボタンに対し、1つずつ行う必要があります。他のボタンを学習させたい場合はキーを一旦OFFにしてから最初から行ってください。



◇学習が終了したら赤外線LEDをカーナビに向け、ステアリングスイッチを押すとカーナビが操作できることを確認してください。

※短いピーブ音が5回鳴った場合は学習失敗です。トラブルシューティングを参照して原因を特定してください。

※学習時にあまりユニットとリモコンを近づけないでください。ユニットとリモコンは10cm以上離して学習してください。

※**手順3でステアリングスイッチのMODE (SOURCE) ボタンを押すと**リセット設定モードに移行し、通常学習できません。このモードについては次ページを参照してください。

※手順4でリモコンのボタンを押してもピーブ音が鳴らない場合は、リモコンのボタンを一旦離し、再度同じボタンを押してください。

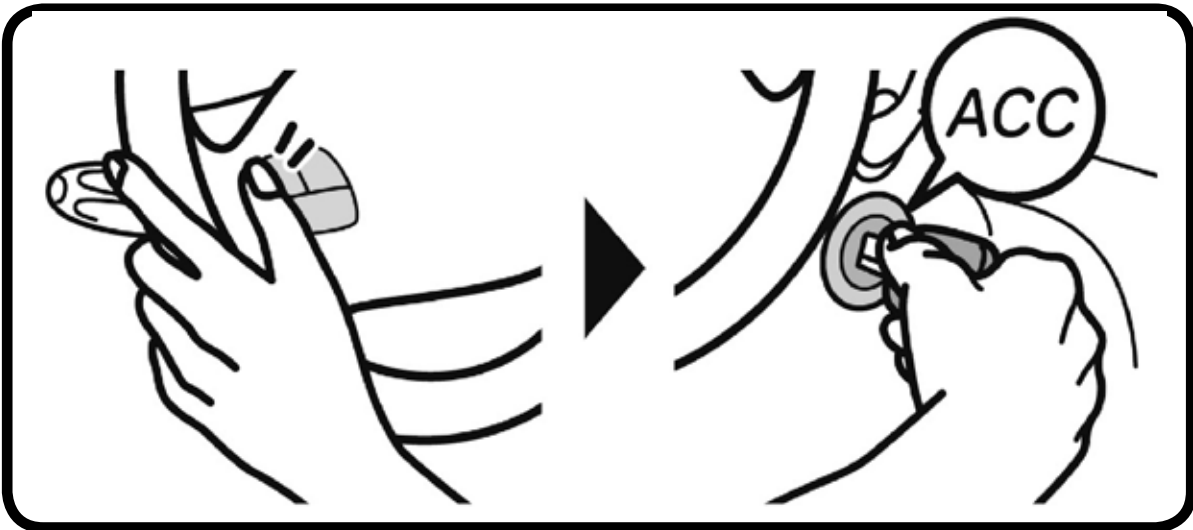
プリセットデータを使用した場合の設定方法

赤外線リモコンが付属しないカーナビをお使いの方は、プリセット（内蔵）しているリモコンデータを呼び出して設定します。リモコン不要で初期設定を行うことができます。設定作業の前に「本体内蔵のプリセットデータについて」ページを参照し、お使いの機種を確認しておいてください。

※設定するにはユニットの取り付けが正しく完了している必要があります。

◇プリセットデータで初期設定を行うには次の操作を行います

1. ステアリングスイッチのいずれかのボタンを押しながらキーをACCに廻す（プッシュスタート式の車種の場合はブレーキを踏まずにスタートボタンを1回押します）。長いブープ音が1回鳴ればステアリングスイッチから離す。**※この部分の操作は通常の学習時と同じです**



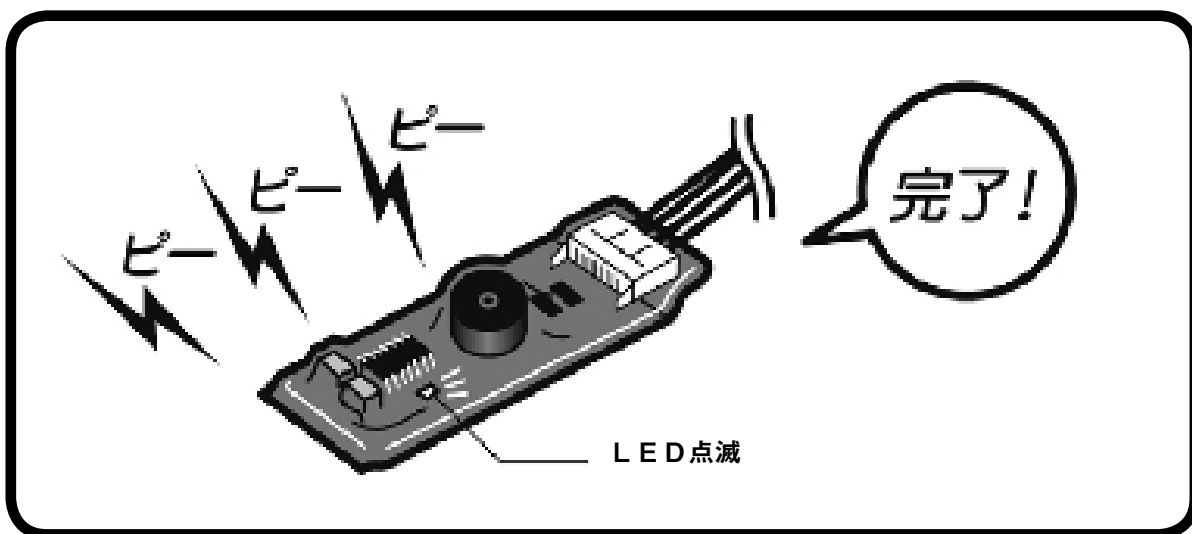
2. ステアリングスイッチの「MODE」（車種によってはSOURCE）ボタンを押します。すると、短いブープ音が1回（ページ番号1を示す）鳴ります。もう一度「MODE」ボタンを押すと短いブープ音が2回（ページ番号2を示す）、更に押すと3回（ページ番号3を示す）鳴ります。



3. 「**音量アップ**」、「**音量ダウン**」、又は「**シーク+ (次の曲へ)**」の3つのボタンの内、いずれかのボタン押すとプリセットされているリモコンデータがステアリングスイッチのボタン全てに設定されます。※押すボタンにより、設定されるメーカーが異なります



4. 設定が完了すると長いブープ音が3回鳴り、続けて短いブープ音が数回（設定されたメーカーにより2回～9回）鳴ります。



- ※手順2にて、ステアリングスイッチを押す前にユニットから長いブープ音が2回鳴って、学習が進んでしまう場合は、ユニットを暗い場所に移動するかユニットを手や紙などで覆って外光が入らないようにしてください。
- ※プリセットデータを使用して初期設置を行うと、ステアリングスイッチの全ボタンが書き換えられます。お使いの機種メーカー名を正しく選択しないと全てのボタンが使用不可となります。この場合は再度設定を行ってください。
- ※カーナビ／カーオーディオのリモコンをお持ちの方は**プリセット設定完了後に一部のボタンのみを通常学習で変更することもできます。**

本体内蔵のプリセットデータについて

設定方法は前々ページを参照

プリセット機能で設定されるメーカー、リモコン名は下記の通りです。
ページ番号1～4はリモコンの設定、ページ番号5は本体機能の設定です。

◆ページ番号1

- ・ **音量アップボタン** クラリオン／アゼスト社製カーナビ／カーオーディオ
⇒ RCB-165-540, RCB-202-500, RCB-176-500 リモコンを設定
- ・ **音量ダウンボタン** イクリプス社製カーナビ
⇒ RMC101 リモコンを設定
- ・ **シークプラスボタン** アルパイン社製 X07, X075, X08 カーナビ
⇒ RUE4208 リモコンを設定

◆ページ番号2

- ・ **音量アップボタン** パナソニック社製カーナビ
⇒ ストラーダカーナビ
- ・ **音量ダウンボタン** パイオニア社製カーナビ
⇒ サバ-ビ / 楽ナビ ※サバ-ビ は発話が 外のみ上書き学習する
- ・ **シークプラスボタン** サンヨー社製カーナビ1 (RDTV1 対応モデル)
⇒ NVP-RDTV1 リモコンを設定 ※ポ-ダブルは次ペ-ジに記載

◆ページ番号3

- ・ **音量アップボタン** ケンウッド社製カーオーディオ
⇒ RC527J リモコンを設定
- ・ **音量ダウンボタン** ケンウッド社製カーナビ HDV-909DT 専用
⇒ NA-R909 リモコンを設定
- ・ **シークプラスボタン** パイオニア社製カーオーディオ
⇒ CD-R500 リモコンを設定

次のページへ続く

MEMO

- ※プリセットデータは、ステアリングスイッチの絵柄と動作が一致しないスイッチがあります。詳細は次ページをご覧ください。
- ※メーカー名が合致しても、カーナビの機種によっては一部又は全てのボタンが使用できない場合があります。
- ※音量アップ、音量ダウン、シーク+ (次の曲へ) ボタン以外のステアリングスイッチを押すとエラー音が5回なり終了します。

本体内蔵のプリセットデータについて（続き）と機能設定

◆ページ番号4

- ・ **音量アップボタン** サンヨー・パナソニックポータブルナビ用
 - ⇒ サンヨー NVP-RSD1, RSD10DT, R260DT
 - ⇒ パナソニック CA-PRSD1D リモコンを設定

MEMO

※以下ページ番号5、6は本体機能の設定を行うことができます。

◆ページ番号5

- ・ **音量アップボタン** 本体機能の設定を行う
 - ⇒ ステアリングスイッチ操作時の**クリック音をON**にする
- ・ **音量ダウンボタン** 本体機能の設定を行う
 - ⇒ ステアリングスイッチ操作時の**クリック音をOFF**にする

■ ON設定になった場合
ピピピ・ピーピーピー

■ OFF設定になった場合
ピピ・ピーピーピー

◆ページ番号6

- ・ **音量アップボタン** 本体機能の設定を行う
 - ⇒ 赤外線 LED 変調周波数を「高」にする
- ・ **音量ダウンボタン** 本体機能の設定を行う
 - ⇒ 赤外線 LED 変調周波数を「中」にする ※初期状態
- ・ **シークプラスボタン** 本体機能の設定を行う
 - ⇒ 赤外線 LED 変調周波数を「低」にする

MEMO

- ※プリセットデータは、ステアリングスイッチの絵柄と動作が一致しないスイッチがあります。詳細は次ページをご覧ください。
- ※メーカー名が合致しても、カーナビの機種によっては一部又は全てのボタンが使用できない場合があります。
- ※音量アップ、音量ダウン、シーク+（次の曲へ）ボタン以外のステアリングスイッチを押すとエラー音が5回なり終了します。

プリセットデータで設定されるボタン内容一覧表

	MODE	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
イクリアスカーナビ	ソース切替	電源	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
クラリオンナビ / オーディオ	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
アルパイン RUE-4208	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パナソニックカーナビ	ソース切替	発話	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パナソニックカーナビ	ソース切替	AUDIO	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
サヨ NVP-RDTV1	AUDIO	電源	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
ケンウッド RC527J	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
ケンウッド NA-R909	ソース表示	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
パナソニック CD-R500	ソース切替	MUTE	VOL+	VOL-	SEEK+	SEEK-
サヨ NVP-RSD1	MODE/AV	MUTE	VOL+	VOL-	CH+(TV)	CH-(TV)

	opt1	opt2	opt3	opt4
イクリアスカーナビ	広域	詳細	現在地	メニュー
クラリオンナビ / オーディオ	A/V	BAND	現在地	経路情報
アルパイン RUE-4208	広域	詳細	現在地	メニュー
パナソニックカーナビ	P.List	CH	AV	NAVI
パナソニックカーナビ	A.C. 上	A.C. 下	発話	DISPLAY
サヨ RDTV1	広域	詳細	現在地	メニュー
ケンウッド RC527J	FM+	AM-	PLAYSTOP	*
ケンウッド NA-R909	広域	詳細	NAVI	渋滞
パナソニック CD-R500	UP	DOWN	PAUSE	DISP
サヨ NVP-RSD1	FF	REW	現在地	番組表

MEMO

- ※ MODE ボタンは車種により SOURCE と表示されています。
- ※カーナビ/カーオーディオの機種により全ての操作ができない場合があります。
- ※カーナビ/カーオーディオの機種によりソース切替ボタンを押すと画面に一覧が表示され、タッチパネルを押す必要がある場合があります。
- ※カーナビ/カーオーディオの機種によりソース切替 / MUTE が利用できません。これは機器側に機能が用意されていない為です。
- ※車両側にボタンが用意されていない場合は操作できません。
- ※車両メーカーによりボタン表示と、操作できる内容が異なります。相違内容については次ページをご参照ください。

※車両メーカーにより次の内容が異なります（**記載なしは表示と同じ**）

◇トヨタ車（8 ボタン対応）

- ・ VOICE ボタンは MUTE の内容が設定されます
- ・ ㊦ボタンは opt1 の内容が設定されます
- ・ ㊧ボタンは opt2 の内容が設定されます

◇スズキ車（6 ボタン対応）

- ・ enter ボタンは MUTE の内容が設定されます

◇三菱車（8 ボタン対応）

- ・ VOICE ボタンは MUTE の内容が設定されます
- ・ ㊦ボタンは opt1 の内容が設定されます
- ・ ㊧ボタンは opt2 の内容が設定されます

◇ホンダ車（9 ボタン対応） *NAV ガイドスイッチ配線接続時

- ・ VOICE ボタンは MUTE の内容が設定されます
- ・ ㊦ボタンは opt1 の内容が設定されます
- ・ ㊧ボタンは opt2 の内容が設定されます
- ・ RETURN ボタンは opt3 の内容が設定されます

◇日産エルグランド E51 系スイッチ採用車（6 ボタン対応）

- ・ VOICE ボタンは SEEK- の内容が設定されます
- ・ TEL ボタンは MUTE の内容が設定されます

◇日産セレナ C25 系スイッチ採用車（8 ボタン対応）

- ・ ENTER ボタンは MUTE の内容が設定されます
- ・ RETURN ボタンは opt1 の内容が設定されます
- ・ TEL/SPEAK は opt2 の内容が設定されます

◇マツダ車（6 ボタン対応） * 全て表示と同じ

◇スバル車（9 ボタン対応）

- ・ ㊦ボタンは opt1 の内容が設定されます
- ・ ㊧ボタンは opt2 の内容が設定されます
- ・ VOICE(TALK) ボタンは opt3 の内容が設定されます

◇ホンダ S2000（4 ボタン対応） * 全て表示と同じ

トラブルシューティング

学習操作をしてもビープ音が鳴らない（全く動作しない）

1. キーを廻してACC電源をONにした時に本体基板上の赤色LEDは点滅⇒点灯していますか？していなければ電源の接続を確認してください。
2. ビープ音の音量は小さめに設定してありますので、聞こえにくい場合があります。オーディオはOFFにするなど、周囲の音を小さくしてください。
3. 一部の社外オーディオ接続用ハーネスで、ステアリングスイッチ配線をアースに落としている製品がございます。アースされている場合は、その配線を切断してください。

ステアリングスイッチの一部のみしか学習できない

1. 接触不良でスイッチを誤認識している可能性があります。桃・茶・黄の配線の接触不良を確認してください。
2. 学習リモコンユニット本体の周りにコード類が沢山ある場合、光信号が乱反射して正しく学習できないことがあります。ユニット本体を手元に引き出して、学習作業を行ってみてください。

学習が失敗する（短い音が5回鳴って失敗する場合）

1. 学習リモコンユニット本体が目視できない程奥に設置されていませんか？本体を手元に取り出して、学習作業を行ってみてください。
2. 学習時にカーナビの赤外線リモコンを向ける先を間違っていないですか？
カーナビの赤外線リモコンはユニット本体に向けて操作してください。
もし、ユニット本体の設置が完了しており、目視できない位置にある場合は再度取り出してから学習してください。なお、白／黒コード先についている**豆状の部品が赤外線LED**です。
3. 学習作業を行う際に時間がかかっていませんか？学習操作をして長いビープ音が鳴ってから10秒以内に赤外線リモコンを操作しないと、ビープ音が5回鳴って学習モードが終了します。その場合は10秒以内に学習させるようにしてください。
4. 学習手順を間違っていないですか？学習時に学習させたい赤外線リモコンのボタンを押すタイミングで間違えてステアリングスイッチのボタンを押すミスがよくあります。押す手順は「**ステアリングスイッチ**」⇒「**カーナビのリモコン**」⇒「**カーナビのリモコン**」です。

次ページにつづく

学習が失敗する（リモコンのボタンを押しても長いビープ音が鳴らない場合）

1. LEDのフットランプ等が近くにありませんか？
LEDのランプはパルス制御で光量制御しているものが多く、赤外線リモコンと干渉します。学習時にはLEDのランプ類は消灯しておいてください。
2. カーナビの画面の光が直接ユニット本体にあたっていますか？
一部のカーナビの液晶画面に使用されているバックライトが学習作業時の赤外線信号に悪影響を及ぼすことが確認されています。液晶画面の光の影になるような位置にユニット本体を置き、再度学習作業を行ってください。
3. すべて確認しても学習が失敗するときはそのリモコンを学習することができない可能性があります。ソニーのハイバンドリモコンは学習できません。

学習が失敗する（正常に学習が完了するが、機器を操作できない場合）

1. 学習リモコンユニット本体の周りにコード類が多数ありませんか？
コード類の奥にユニット本体を設置すると、赤外線リモコンの光が乱反射して正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

※どのように処置をおこなっても反応が鈍い場合は、本体設定ページ6にある赤外線LED変調周波数の変更をお試しください。
2. 学習手順を間違っていないですか？
一部の車種用を除き、ユニットには復元機能を搭載しています。学習手順を間違えると復元機能が働き、全ボタンの学習内容を書き換えます。正しい学習操作手順は「ステアリングスイッチ」⇒「カーナビの赤外線リモコン」⇒「カーナビの赤外線リモコン」です。

クラリオン（アゼスト）製カーナビでオーディオ系の操作ができない

1. カーナビの設定で「2ZONE」機能がONになっていないか確認してください。「2ZONE」機能があるクラリオン(アゼスト)社製カーナビについて、この機能がONになっているとオーディオ系のリモコン信号を受け付けません。下記操作を行って「2ZONE」機能をOFFにしてください。

■ AV 切替ボタンでオーディオ画面を表示 → ナビの「SOURCE」ボタン → 右上の「2ZONE」キー → 左下の「ON」をタッチして、2ZONE 機能をOFFにしてください。（チェックをはずしてください）

※ MAX950HD および MAX850HD の場合、SOURCE 画面左下に「2ZONE」キーがありますので、チェックをはずしてください。

ステアリングスイッチでカーナビを操作しても反応が鈍い

1. 日中に反応が鈍くなる場合は、赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。
2. いつも反応が鈍い場合は赤外線LEDの設置位置と角度を再検討してください。赤外線LEDを手で持って直接カーナビに向けてステアリングスイッチを操作しても反応が鈍い場合は、リモコン信号の学習に失敗しています。コード類の奥にユニット本体を設置すると、学習時に赤外線リモコンの光が乱反射して正常な信号を学習できません。学習作業を行うときは、ユニット本体を手元に取り出してから行ってください。

※どのように処置をおこなっても反応が鈍い場合は、本体設定ページ6にある赤外線LED 変調周波数の変更をお試しください。

カーナビ／カーオーディオの電源がOFFの時しか動作しない

1. アース線の接続が間違っている可能性があります。トヨタ車の場合は、ハーネスのアースが車両側で接続されていない場合もありますので、カーナビ／カーオーディオの金属部分でのアースを行うか、ボデーアースへ接続してください。

■カーナビ／カーオーディオの金属部分でアースを取った場合は、カーナビ／カーオーディオを車両へねじ止めしないとアースされず、ユニットが動作しないのでご注意ください。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAL-SLC02(R)(B)	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南 3 丁目 7-11 電話 06-6131-6300